

EZ-WIN総合評価シート				23.5.28 (日) 東京11R G1東京優駿 芝2400m C 3歳 15:40														結果		払戻し									
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重量	予想人気	相対指数	東京優駿血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	東京優駿適性	人気	着順	単勝	複勝		
6	35		1	1	栗)ベラジオオペラ	牡3	57	9	C			E	2,12	7,1	2,5	10	60	7	横山和	上村洋	展								
4	62	○	1	2	美)スキルウィング	牡3	57	2	A	R			11,1	9,1	11,1	100	120	25	C.ル	木村哲		C+							
6	24	△	2	3	美)ホウオウビスケツ	牡3	57	18					6,17	3,9	1,2	0	0	2	丸田恭	奥村武	WR								
6	42	×	2	4	栗)トップナイフ	牡3	57	16	C	△	馬		16,2	2,7	1,9	0	0	2	横山典	昆貞	展	注							
6	44		3	5	美)ソールオリエンス	牡3	57	1	A			E	15,1	6,1	3,2	50	83	64	横山武	手塚貴									
6	56	◎	3	6	栗)ショウナンバシット	牡3	57	10		R			13,6	3,1	3,2	14	94	7	M.デ	須貝尚	WR	B							
6	44	△	4	7	栗)フリームファクシ	牡3	57	8			馬		10,9	2,2	5,2	5	39	7	吉田隼	須貝尚									
6	51		4	8	美)メタルスピード	牡3	57	11	B	R		E	9,6	8,3	4,3	14	94	7	津村明	斎藤誠									
6	17		5	9	美)グリューネグリーン	牡3	57	17					2,14	8,4	6,15	8	95	2	石川裕	相沢都	WT								
6	31		5	10	栗)シャザーン	牡3	57	7			D	C	12,2	6,1	2,1	10	60	7	岩田望	友道康	R								
4	61	★	6	11	美)ハーツコンチェルト	牡3	57	5	B	血		D+	11,1	5,3	10,2	31	116	33	松山弘	武井亮		B							
6	45	×	6	12	美)タスティエーラ	牡3	57	3	A		馬		6,5	4,4	5,3	0	0	26	D.レ	坂倉行		C							
9	27		7	13	美)シーズンリッチ	牡3	57	13		注			6,3	3,8	6,5	5	28	7	戸崎圭	久保田									
6	59	×	7	14	栗)ファントムシーフ	牡3	57	4	B	注	馬		11,2	2,6	6,2	33	67	26	武豊	西村真		B							
9	45	△	7	15	美)ノッキングポイント	牡3	57	15		R		D+	6,1	6,1	4,9	9	74	7	北村宏	木村哲									
3	38	×	8	16	美)パクスオトマニカ	牡3	57	14					1,2	10,6	1,4	10	121	7	田辺裕	久保田									
9	47	注	8	17	栗)ドゥラエレーデ	牡3	57	12	B	血	C		海外	2,9	1,8	5	28	7	坂井理	池添学		B							
3	47	▲	8	18	栗)サトノグランツ	牡3	57	6		△	D		5,2	4,3	4,1	13	88	26	川田特	友道康		C							

土曜の東京芝コースは、ロベルト系の好走が目立ちました。

「東京優駿血統」の欄に「R」の印を付けているのが

3代血統内にロベルトの血を持つ馬になります。

枠順や脚質による馬場傾向の偏りは特にみられず、

展開次第で前が残れば差しも届く「公平な馬場」と言った印象。

ただ、3歳1勝クラスでも、上り最速33秒0が計時される

超高速馬場でしたので、本来の「ダービー血統」である

「母系からスピードを強化された血統馬」が

有利になりやすい馬場であろうと想定しております。

また、実際のスピード能力も血統以上に重要で、

過去10年のダービー連対馬全てに共通する「時計実績」

と言うものが存在致します。

それは・・・

各レースごとに算出される「基準タイム」

と言うものが拙者のデータベース上に設定されています。

これは、クラス・当日の馬場・ペース等を考慮して

その週の開催終了後に算出された、

「このレースは、この時計で走れば上々です」

と言うタイムの事です。

つまり、基準タイム以下の速い時計で

走破した馬はスピード能力が高いと判断できます。

そして、過去10年のダービーで連対した全ての馬は、

2回以上「基準タイム以下」の走破タイムを計時した

実績を持っておりました。

今年のメンバーで、この実績を持つ馬は

馬番を赤太文字表記にしております。

◎6番ショウナンバシット

父:シルバーステート(ディープ系)

母父:メダグリアドーロ(米ND系)

祖母父:米ヴァイスリージェント系/ND系

曾祖母父:ゴーンウエスト(米ミスプロ系)

物凄くなめられてますが・・・

この馬は2億8600万円の超高馬で、
皐月賞は馬場とペースに泣かされながらも
掲示板を確保しております。

シルバーステートは母系にスピード強化血統を
持たせることで、外回りコースのマイル重賞で通用する
スピードを持つ産駒を出す傾向がある種牡馬です。

本馬の母父は、母系から完成の早さと
直線のトップスピードを強化する米国型ND系で、
祖母父、曾祖母父も米国型血統という
徹底したスピード強化配合馬です。

先行タイプですが、キャリア6戦中5戦で上り2位以内の
末脚を繰り出しており、若葉ステークス(OPL)でも
4角2番手から上り最速で勝利しております。

中間はミルコ殿がつきっきりで
フォームの矯正に取り組んだそうで、
陣営はその効果に喜びを表しておりました。

2番スキルヴィング

父:キタサンブラック(Tサンデー系)

母父:シンボリクリスエス(欧ロベルト系)

祖母父:アドマイヤベガ(Tサンデー系)

サンデーサイレンスの3×4クロスを保持

ソニック牝系で、ファミリーからはダービー馬ロジユニヴァース、
安田記念馬ソングラインなどが出ております。

父はダービーでは惨敗しましたが、
産駒のイクイノックスが昨年2着に好走しました。
母父シンボリクリスエスはダービー2着馬。
祖母父アドマイヤベガはダービー馬。

本馬の前走は、ダービーと直結しないと言われる
G2青葉賞ですが、通常の「賞金が足りないから背水の陣で」
という理由での青葉賞ローテではなく、皐月賞は無視して
ダービーに的を絞った「計画的な青葉賞ローテ」からの参戦です。

能力の高さは、青葉賞勝利騎手インタビューで、
ルメール殿が「この馬はG1ホースになれます」と
発言し、ファントムシーフに見向きもせずにこの馬の
騎乗を選んだことが証明となりましょう。

前走が青葉賞だから。と言うのは
全く気にしなくても良いと考えますが、
使われてきた距離と脚質に不安があると思います。

つまり、スタートが遅く一度も先行経験が無い
という事が、ダービーではマイナス要素となるという事。

無論、上り3位以内率は100%ですから、
最後は伸びて来るだろうとは思いますが・・・

青葉賞や、ゆりかもめ賞のように、中間のラップタイムが2F連続で12秒後半になるような「マッターリした」展開はダービーでは望めず、もっとタイトなラップになるか、道中が緩めばロングスパート戦になるのがダービーの厳しさ。

要するに、今まで以上に位置取りが後方になる可能性が高く、物理的に追込んで勝てるのか？
と言う不安が若干あると拙者は考えております。

まあしかし、ルメール殿が「自信ありマス」と言ったG1は大抵勝っておりますので、やっぱり勝つんでしょうかねえ。

▲18番サトノグランツ

父:サトノダイヤモンド(ディープ系)

母父:オラトリオ(欧デインヒル系/ダンチヒ系)

祖母父:エルナンド(欧ニジンスキー系)

ダンチヒの5×4クロスを保持

父はダービー2着馬。

母父オラトリオは仏国1400mG1の勝ち馬で、スピードの強化を担っております。

祖母父エルナンドは仏ダービー馬で、凱旋門賞2着、ジャパンカップ3着馬。

母はイタリアの2000mG1の2着馬で、母の半妹は英・愛オークス馬。

半兄のワーケアは、G1ホープフルSで3着、弥生賞で2着、ダービーでは3人気8着に終わっており、牝系ファミリーの適性としては、日本の「非主流条件」が合うイメージ。

前走のG2京都新聞杯(2200m外回り)では、前半1000m通過が63秒8と言うスローペースを5番手から追走して、上り2位の33秒3でギリギリ差しが届きましたが、少しエンジンの掛かりが遅い印象もあり、相手強化と主流条件替りがプラスになるかどうか疑問を感じるころ。

ただ、好位追走タイプながらも「上り3位以内率80%」
と言うのは侮れないところでもあります。

★11番ハーツコンチェルト

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

母父:アンブライドルズソング(米ファピアノ系/ミスプロ系)

祖母父:バインブラフ(米ダンチヒ系)

曾祖母父:APインディ(米ポールドルーラー系)

ハーツクライは昨年のダービー馬ドウデュースの父。

サンデー系×ファピアノ系の配合は、直線のトップスピードを大幅に強化する配合で、成長を早める効果もあります。

また、祖母父にも成長促進血統+スピード強化+持続力強化のダンチヒ系を持ち、曾祖母からは持続力も与えられています。

まさに、ダービー狙いの血統設計図の見本のような配合馬です。

血統構成を考えると、青葉賞よりも
厳しいラップになりやすいダービーの方が

持ち味が活きそうで、東京コースの1800m重賞で
好走経験がある事と、左回りは券外無も好材料。

基準タイム以下の実績が1度しかないので、
最有力の3着候補と言う評価になります。

注17番ドウラエレーデ

父:ドウラメンテ(欧キングマンボ系)

母父:オルフェーヴル(Tサンデー系)

祖母父:オーペン(欧ダンチヒ系)

母のマルケッサは、ダービー2着馬サトノダイヤモンドの半妹。

祖母父オーペンは仏国G1モルニ賞(1200m)勝ち馬。

祖母のマルペンサは、アルゼンチンのG1ホースで、
芝、ダートを問わず1200m~2000mの
幅広い距離のG1で度々連対した競走馬でした。

この影響が強く出たようで、
本馬もG1ホープフルSを先行して優勝し、
アラブのUAEダービー(ダ1900m)でも連対。

父も母父もダービー馬という配合で、
母はダービー2着馬の妹。
牝系からはスプリントG1でも通用する
スピードを補完されている理想的とも言える配合です。

ダートで好走歴のある馬なので
ちょっと狙いにくいような気もしますが、
この馬の場合は、祖母マルペンサの遺伝と
考えられますから、気にしなくても良いと考えます。

また、本馬はサンデーサイレンスを出した
ヘイローの血を4×5×5の多重クロスによって、
日本の芝向きのスピードをふんだんに強化されております。

「逃げ」か「番手」で競馬するタイプですので、
上り3位以内率は40%にとどまりますが、
これは2018年2着のエポカドーロと同じ数値で、
割り引き材料には当たらず、都合よく解釈する事にしました。

ただ、基準タイム以下で走破したのがダート戦・・・
頑張って3着に粘り込んで下さい(*_*)と言う評価です。

馬券

EZ-WIN推奨馬券

馬連ボックス:2・4・11・14

くまもん馬券

単勝・複勝:6番

馬連:6-2・18

ワイド:6-2・11・17・18

3連複フォーメーション34点

6-2・11・17・18一印全頭

3連単フォーメーション6点

2⇄6→11・17・18

EZ-WIN総合評価シート				23.5.28(日) 京都11R 白百合S 芝1800m外C 3歳OPL別定 16:05														結果		払戻し							
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性齢	負担重量	予想人気	相対指数	トレンド血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	牝系の1800m適性	人気	着順	単勝	複勝	
9	54	○	1	1	栗)セオ	牡3	56	3	A	血	D		1,1	2,4	1,4	25	97	26	松若風	上村洋							
2	35		2	2	栗)ワイドアラジ	牡3	56	6	C		E		6,4	6,4	4,2	6	76	3	団野大	奥村豊		B					
9	41		3	3	栗)ウインズノーライト	牡3	56	8		血			1,6	2,9	2,2	0	0	0	長岡禎	杉山晴	R						
2	21	★	4	4	栗)メモリーズオブユー	牡3	56	7					1,9	4,9	4,9	9	59	3	富田暁	高橋義							
6	38	△	5	5	栗)スズカハービン	牡3	56	5	C		D	C+	9,1	11,2	14,1	6	64	5	鮫島克	高橋義		B					
6	44	▲	6	6	栗)ワンダイレクト	牡3	56	1	A		▲	16,11	6,3	3,2	71	94	67	藤岡佑	藤岡健	枠							
10	43	◎	7	7	栗)アイスグリーン	牡3	56	4	C		E	E	9,7	8,3	3,6	12	78	3	幸英明	池添学	R	★					
10	40	△	8	8	栗)バルサムノート	牡3	56	2			D	D	3,2	4,6	7,9	67	101	33	西村淳	高野友							

直近の良馬場で行われた当コースのトレンド血統は
ディープ系×スピード強化血統の配合。

過去に行われた白百合Sも小頭数のスローペースで、
圧倒的に先行馬が有利となっております。

◎7番アイスグリーン

牝系ファミリーが1800mに特化した一族で
マイ注目馬の「1800m」登録馬です。

前走は馬場が合わず全く進んで行けず参考外で、
着順よりも重賞で5人気に支持された事を評価します。

★4番メモリーズオブユー

母はアーモンドアイの半姉。
エピファネイア×キングカメハメハの配合は
外回り1800mでは複勝率63%!

遊びながら走るのに競馬になっていませんでしたが
今回はチークピーシーズを着用するので
牝系の評価込みで期待しています。

馬券

EZ-WIN推奨馬券
馬連ボックス:1・6・7

くまもん馬券

馬連・ワイド:3-7
3連複2頭軸:3・7-全頭(6点)

EZ-WIN総合評価シート				23.5.28(日)東京12R G2目黒記念 芝2500m C 4上ハンデ														結果		払戻し									
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重量	予想人気	相対指数	東京25重賞血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	非根幹適性	人気	着順	単勝	複勝		
3	48	×	1	1	栗)ゼッフィーロ	牡4	56	3	B	△	馬			11,1	7,1	7,1	24	88	18	川田将	池江泰		牝系						
10	20		1	2	栗)バーデンヴァイラー	牡5	58	14			D	B	地方	地方	10,15	8	95	0	坂井瑠	斉藤崇									
3	35	注	2	3	栗)カントル	牡7	56	9	C	注	B	E	3,3	3,10	8,14	14	94	9	横山和	藤原英		牝系							
9	49	×	2	4	美)ライラック	牝4	56	4	A	△			12,2	16,2	16,2	33	116	0	M. テ	相沢都									
10	30		3	5	栗)ユーキャンスマイル	牡8	58	16		血			8,7	10,8	13,2	8	98	0	石橋脩	友道康	展	2200							
15	36	×	3	6	栗)ブラダリア	牡4	57	2	C		馬		6,3	6,1	7,6	24	88	18	池添謙	池添学	R	2200							
4	29	▲	4	7	栗)ディアスティマ	牡6	57	6	C		D		6,7	2,6	1,11	14	94	0	北村友	高野	TR	2500							
2	25		4	8	美)フォワードアゲン	セ6	54	18					6,5	3,13	10,7	8	95	0	柴田善	中野栄		非							
14	43	×	5	9	栗)ダンディズム	セ7	56	13		注		C	14,5	8,1	12,5	0	63	0	浜中俊	野中賢	枠	2200							
9	28	○	5	10	栗)ヒートオンビート	牡6	58	5	C	血	D+		6,6	6,7	6,9	9	74	0	D. レ	友道康		2500							
7	46	★	6	11	栗)アーティット	牡4	57	7	B	注	馬		2,2	11,4	2,3	14	94	0	岩田望	友道康		2200							
3	29		6	12	栗)プリマヴィスタ	牡6	54	15		△			14,10	11,5	10,6	3	369	0	丸山元	矢作芳		2200							
3	31	×	7	13	栗)セファラジエル	牡5	56	10	C		馬		2,5	3,1	1,2	14	98	9	吉田準	高柳大									
3	41		7	14	美)バラジ	牡4	56	8	A		馬	E	6,7	5,6	1,3	14	94	9	三浦皇	鹿戸	R	2200							
9	22		7	15	栗)アリストテレス	牡6	58	12			馬		8,11	12,5	11,12	9	86	0	戸崎圭	音無秀		2200							
17	50	◎	8	16	美)サリエラ	牝4	56	1	C	注	馬		5,1	9,1	8,1	41	76	50	C. ル	国枝栄		牝系							
3	21		8	17	美)コトブキティス	牝6	51	17		注			7,12	11,12	13,3	0	0	0	永野猛	田島俊	R								
15	28	×	8	18	美)ラストドラフト	牡7	57	11	C				9,9	11,12	11,2	22	80	9	松岡正	戸田博	R	2500							

2500mと言う非根幹距離重賞ですから、
2200・2500m重賞実績馬は勿論有力ですが、
2勝クラス以上の2200・2500で上り最速勝ちの
実績を持った馬にも注意が必要です。

血統面では、父がディーブ、Tサンデー系か
父キングカメハメハが圧倒的な3着内占有率を誇ります。

また、父がサンデー系の場合は
母父が欧州型血統の方がモアベターです。

◎16番サリエラ

父:ディーブインパクト

母父:ロミタス(独ニジンスキー系)

祖母父:デインヒル系(欧ダンチヒ系)

全姉サラキアは有馬記念、エリザベスの2着馬で
距離延長に優れた適性を見せておりました。

東京コースが非常に得意な牝系でもあり、
牝系ファミリーの東京芝複勝率は74.1%に及びます。

また、牝系全体がマイルよりも1800m、
2000mよりも2200mに非常に適性が高く、
半兄のサリオスが皐月賞、ダービー2着の実績がありながら
何故かマイル路線に使われて、どんどん汚れていくのを
「有馬使えや!」と、腹立たしい思いで見えておりました。

サリエラ自身は、デビュー戦の1800mを
基準タイムを0秒5も下回る非常に優秀な時計で圧勝。
非根幹距離適性の高さを再認識させられました。

キャリアが4戦と浅いので、2500mを走る
スタミナが熟していない可能性は認めますが、
勝てないまでも馬券圏内を外すイメージはありません。

人気ですがこの馬から入ります。

★11番アーティット

父:ディープリンパクト

母父:ガリレオ(欧サドラーズ系)

祖母父:欧エタン系(ネイティヴダンサー系)

母父にサドラーズ系を持つため

成長に時間が掛かりましたが、ようやく完成期を迎えた印象。

非根幹距離で好走を続けており、

勢いが大事なディーブの牡馬ですから、

重賞初挑戦でも悔れない存在でしょう。

○10番ヒートオンビートは、

キングカメハメハ×ディープリンパクトの配合で、

当コース重賞は上位常連。

馬券

EZ-WIN推奨馬券

馬連ボックス:1・4・11・16

くまもん馬券

単勝・複勝:11番

ワイド:11-10・16

馬連16-3・7・10・11

3連複フォーメーション17点

16-10・11-印全頭

EZ-WIN予想の馬券構築について

EZ-WIN予想に打っている印によって
おススメの馬券は、以下の通りとなります。

馬連

◎から流し。相手は○▲★☆△

通常は4～5点になります。

3連複フォーメーション

買目平均は30点前後になりますが

10万級の大きな馬券を取りこぼして悔しい思いを
しない為には、トリガミの覚悟も必要です。

1列目：◎

2列目：○▲★☆△

3列目：印全頭

ワイド

★ー◎○▲

★の単複